

◎令和7年度地元産業界との地域課題解決に向けた連携について

i. 連携している地元産業界等の組織名称

一般社団法人ユフィズム（以下「ユフィズム」）

ii. 当該連携事業における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

大分県有数の梨の産地である由布市庄内町では、生産者の高齢化に伴う農家数の減少や、シーズンオフにおける売上の減少、摘果果実の廃棄、剪定枝葉の処理など、地域産業の持続に関わる課題が生じている。また、梨の加工工程において発生する皮や芯、果汁を搾った後に残る繊維などの未利用部分が廃棄されていることも、地域資源の十分な活用という点で課題となっている。

こうした状況を踏まえ、昨年度（令和6年度）には研究室活動として、おおいた地域連携プラットフォームのフィールドワーク支援事業の補助金を活用し、梨の葉を利用したお茶の製造に関する研究を実施した。本年度（令和7年度）は、これまでの研究成果を踏まえ、「梨の葉茶」の社会実装を目指すとともに、由布市で加工品生産事業者を取りまとめている一般社団法人ユフィズムと連携し、協議を重ねてきた。その協議の過程において、梨の加工工程で発生する皮や芯、果汁を搾った後に残る繊維などの未利用部分に着目し、これらを地域資源として有効活用する可能性について検討するに至った。

本連携事業では、由布市が掲げる未利用資源の活用による付加価値創出という方針を踏まえ、梨の加工過程で生じる未利用部分を活用した新たな商品の研究開発に取り組むことにより、地域資源の有効活用と地域産業の活性化につなげることを目標とする。

iii. iiの課題の解決に向けて実施した取組の内容

令和7年度は、地域農業における未利用資源の活用による付加価値創出という課題の解決に向け、学生によるフィールドワークおよび商品開発に関する取組を実施する。次年度（令和8年度）は、商品化を見据え、商品の確定から製造元へのプレゼンテーションおよび交渉までの一連の取組を、学生が連携企業とともに実施する予定である。



◎令和7年度地元産業界と連携した実践的 PBL を含む授業科目等の開講の実施について

i. 連携している地元産業界等の組織名称

一般社団法人ユフィズム

ii. 当該授業等を実施する学部・学科

食物栄養科学部 発酵食品学科

iii. 当該授業を開講する目的

大分県有数の梨の産地である由布市庄内町では、生産者の高齢化に伴う農家数の減少、シーズンオフの売上減少、摘果果実の廃棄、剪定枝葉の処理など、地域産業の持続に関わる課題が生じている。また、梨の加工工程において発生する皮や芯、果汁を搾った後に残る繊維などの未利用部分が廃棄されている現状も見られる。

本授業では、こうした地域の課題を題材として取り上げ、学生が地域資源の活用や付加価値創出の可能性について実践的に学ぶことを目的とする。具体的には、由布市および地域の加工品生産事業者を取りまとめる一般社団法人ユフィズムと連携し、梨の加工過程で生じる未利用資源の活用に着目した新たな商品の研究・開発に取り組む。

これらの活動を通して、学生が地域産業の現状と課題を理解するとともに、地域資源を活かした商品開発や地域活性化の方策について主体的に考え、実践的な課題解決力を養うことを目指す。

iv. 当該授業等の具体的な内容

学生は、令和7年10月20日（月）に、由布市庄内町に所在する梨園および一般社団法人ユフィズムを訪問し、現地でのフィールドワークを実施した。当日は、梨園において収穫作業の見学を行うとともに、ユフィズムの施設内において、傷が付くなどして商品として流通できない梨を加工する作業場の見学を行った。これらの見学を通して、学生は農業の現場や加工の工程について理解を深めるとともに、地域農業の持続的発展に向けた課題について学んだ。

その後、学生は、梨の未利用部分（梨の皮、芯、果汁を搾った後に残る繊維など）に着目し、これらを活用した新たな商品の企画・開発に取り組んだ。学生は試行錯誤を重ねながら、地域資源の有効活用や付加価値の創出を意識した商品提案を検討した。

令和8年2月9日（月）には、連携先である一般社団法人ユフィズム、一般社団法人ユフト、由布市役所、大分県庁、ならびに梨事業に関わる笑竹堂の関係者を本学に招き、成果報告会を実施した。報告会では、学生が検討した7つの商品について提案を行い、地域関係者と意見交換を行った。

報告会後には、外部参加者から「これまで廃棄されるものという固定概念があったが、学生が大学で培った知識や経験を基に新たな発想を加えた提案を聞くことで、価値ある資源として再認識することができた」との評価が寄せられた。

なお、次年度（令和8年度）は、本報告会で提案された商品を基に、ユフィズムおよび由布市と連携し、商品化に向けた取組を進める予定である。



フィールドワークの様子



加工現場の見学



成果報告会の様子